

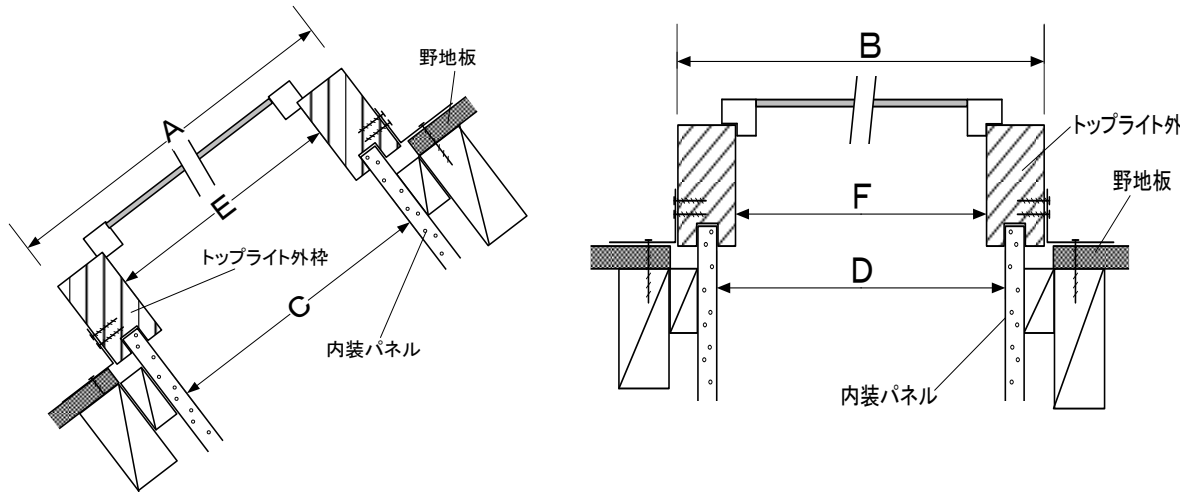
1. 対象部材

トップライト(勾配屋根用)

略称：CjK トップライト

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。



- A：トップライト外枠外のり寸法(流れ方向)
- B：トップライト外枠外のり寸法(幅方向)
- C：内装パネル内のり寸法(流れ方向)
- D：内装パネル内のり寸法(幅方向)
- E：トップライト外枠内のり寸法(流れ方向)
- F：トップライト外枠内のり寸法(幅方向)

図1－標準(共通)化の部位

注記) 寸法E、Fのとり方は、図2の様に、網戸、ブラインド等の取付面を障害しないとり方とする。

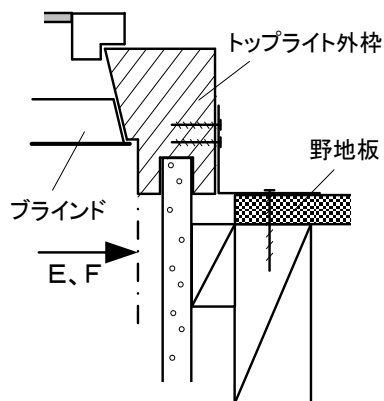


図2－寸法E、Fのとり方

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法			
	①	②	③	④
A：外枠外のり (流れ方向)	$690 \leq A$ (< 700)	$540 \leq A$ (< 550)	$770 \leq A$ (< 780)	$970 \leq A$ (< 980)
B：外枠外のり (幅方向)	$540 \leq B$ (< 550)	$770 \leq B$ (< 780)		
C：内装パネル内のり 寸法(流れ方向)	$640 \leq C$ < 675	$490 \leq C$ < 525	$720 \leq C$ < 755	$920 \leq C$ < 955
D：内装パネル内のり 寸法(幅方向)	$490 \leq D$ < 525	$720 \leq D < 755$		
E：外枠内のり寸法 (流れ方向)	< 640	< 490	< 720	< 920
F：外枠内のり寸法 (幅方向)	< 490	< 720		

注記) ()内は、野地板のみ込み設置の場合を示す。(図4参照)

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。

または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 躯体側の具備すべき条件

野地板の開口寸法A'、B'(図3)は、表2に規定する寸法とする。

5.2 対象部材と躯体の取り合い部の条件

内装パネル内面は野地板開口の内側にあるものとし、図3に示す野地板開口端部からトップライト外枠内面までの寸法Gi、及び野地板開口端部から内装パネル内面までの寸法Hiは、表2に規定する寸法とする。

表2－各寸法

単位：mm

項目	寸法			
	①	②	③	④
A'：野地板開口 (流れ方向)	700	550	780	980
B'：野地板開口 (幅方向)	550	780		
Gi：野地板開口端部 外枠内面間寸法 (i=1、2、3、4)	≥ 30			
Hi：野地板開口端部 内装パネル内面 間寸法 (i=1、2、3、4)	$12.5 \leq Hi \leq 30$			

注記)(i=1、2、3、4)はトップライトの4辺を示す

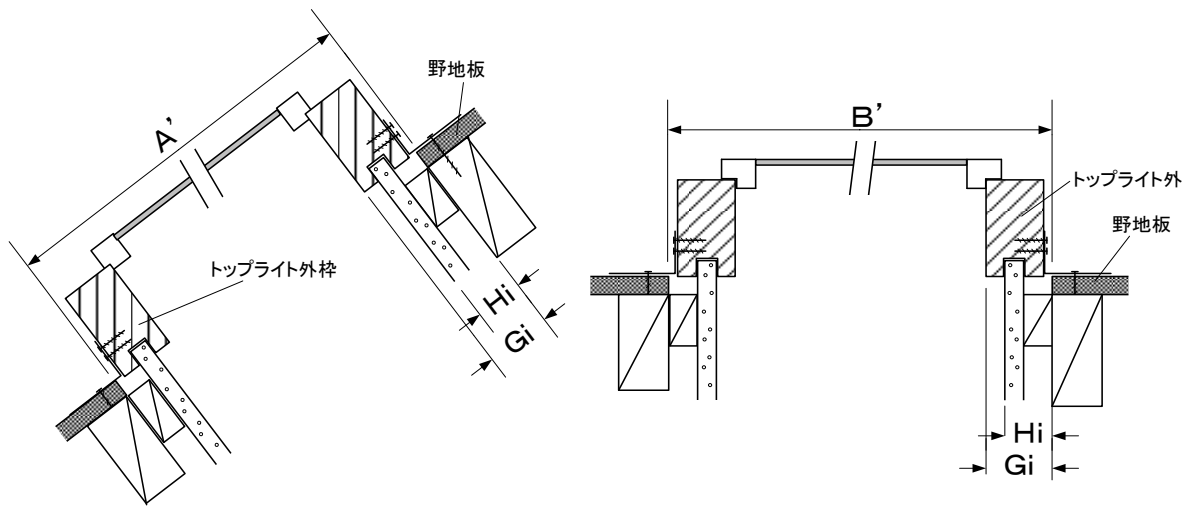


図3－野地板開口、及びトップライトと野地板開口との取り合い

5.3 対象の範囲

- ・本基準書は2.5寸以上の勾配屋根用のトップライトを対象としており、フラット屋根用は対象外とする。
- ・開閉方式については、特に規定しない。

6. 解説

- ・躯体側の大幅な改修を伴わずに容易に、また開閉タイプとFIXタイプの相互の交換が可能となるように、トップライトの寸法を定めた。
- ・内装パネルがトップライト外枠よりもガラス側に突出しない様に、内装パネル内のり寸法、及びトップライト外枠内のり寸法を定め、野地板開口寸法－60mm（片側30mm）とした。
- ・トップライト外枠外のり寸法と野地板開口寸法は、トップライト固定のためのアングル材等の端空き寸法確保のため、クリアランスが10mm以下（片側5mm以下）となる寸法とした。
- ・内装パネル内のり寸法の上限值は、石膏ボード厚12.5mmを想定し、野地板開口寸法より25mmを減じた寸法とした。
- ・野地板のみ込み設置の場合は、野地板開口寸法よりもトップライト外枠外のり寸法の方が小さい必要があるため、寸法A、Bの上限を定めた。

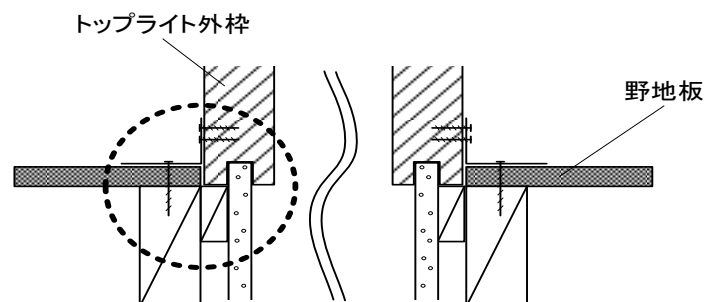


図4－野地板のみ込み設置

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。